

都の西北

第39号

2023年4月1日 発行：社会保険労務士稲門会
発行人：若林正清 編集人：社会保険労務士稲門会 広報委員会

第22回講演と懇親の夕べ 2022年12月3日(土)

第22回「講演と懇親の夕べ」は2022年12月3日(土)、早稲田大学 法学学術院教授 島田陽一先生(元早稲田大学副総長/当会支援講座担当教授)を講師にお招きし、新型コロナウイルスの感染拡大防止のためハイブリッド会議形式で、来場参加・リモート参加計50名以上の会員の参加のもと開催されました。

- 1 開催日：2022年12月3日(土)
- 2 開催形式：ハイブリッド会議方式
(会場に来場して参加するとともに、WEB参加も可能な方式)
会場&発信元：AP東新宿 3F
- 3 次第：
 - 第1部 講演会(15:00~17:00)
講師：早稲田大学 法学学術院教授(元早稲田大学副総長)
島田 陽一 先生(支援講座担当教授)
演題：雇用関係におけるワークルールの浸透と社会保険労務士への期待
 - 第2部 懇親会(17:30~19:30)



※ 題字は昨年2022年12月4日に逝去された小林昌尚名誉会長の筆によるものです。

第1部・講演会 は、長部ひろみ副幹事長（東京会）の司会により、若林正清会長（三重会）の開会の辞と講師紹介で始まり、講師である 島田陽一先生に1時間40分にわたり、「雇用関係におけるワークルールの浸透と社会保険労務士への期待」というテーマでご講演いただきました。年明け3月に定年退官される島田先生にとっては、本講演は退官記念講演に準ずるともいえるものであり、同時に、内容的にも会員諸氏にとって資するところが大きいものでした。ご講演後は20分間の質疑応答もあり、林智子副会長（東京会）の閉会の辞をもって午後5時に第1部講演会を終了しました。講演会終了後に、他大学社労士会、他士業稲士会からご参加の皆さまのご紹介があり、最後に校歌をYouTubeで流して“黙唱”し、集合写真撮影をしました。

[下] ご講演中の島田陽一先生



[下] 長部ひろみ副幹事長（第1部・第2部司会）／若林正清会長
他大学社労士会、他士業稲士会からご参加の皆さま／林智子副会長



第2部・懇親会 は、会場を講演会会場であるAP東新宿の同階別室に移して催され、講演会に続いて長部ひろみ副幹事長の司会のもと、若林正清会長の開会の辞で始まり、細川良青山学院大学教授・早稲田大学非常勤講師からご挨拶をいただき、中小企業診断士稲門会の松波道廣会長（現・稲士会会長）の音頭で乾杯して歓談に移りました。途中、ご出席いただいた他会の皆さまをご紹介させていただき、代表として社会保険労務士駿台会（明治大学）の齊藤充弘会長と社会保険労務士桜友会（学習院大学）の諸星裕美会長からご挨拶をいただき、引き続き歓談の時を経て、最後に上田純子副会長（東京会）の閉会の辞をもって無事中締めとなりました。

[下] 若林正清当会会長／細川良青山学院大学教授／松波道廣中小企業診断士稲門会会長／齊藤充弘社会保険労務士駿台会会長／諸星裕美社会保険労務士桜友会会長／上田純子当会副会長





第9回会員特別講演会の開催ご報告 2022年12月3日(土)ハイブリッド開催

2022年12月3日(土) (「講演と懇親の夕べ」と同じ日) 午後1時30分から、第9回・会員特別講演会 (第5回・支援講座ゲストスピーカー (新規予定者) による講演会) を、新型コロナウイルスの感染拡大防止のためハイブリッド会議形式 (来場参加&リモート参加) で多くの会員の皆様のご参加のもと開催しました。

開催日：2022年12月3日(土)

開催時間：13:30~14:30

開催形式：ハイブリッド会議方式

会場&発信場所：AP東新宿 3F

講師：渡井 保仁 会員

演題：任意後見制度の課題と展望

司会：長部ひろみ副幹事長



講演終了後に初参加者 (門馬直樹 会員・西郷ちさ子 会員) のご紹介がありました。



続いて曾布川 哲也副会長 (東京会) より母校支援講座の現況報告がありました。



2022年度15年目の「支援講座」が無事終了、 2023年度からは授業時間が90分から100分に。

2008年より母校・早稲田大学において、社会保険労務士・行政書士・司法書士・税理士の四士業稲門会「稲士会」による大学との提携講座がスタートし（稲士会は現在、中小企業診断士を加えた五士業各稲門会で構成されています）講座名は「企業法務概論」でした（現在の正式名称は「労働・社会保障実務概論（早稲田大学校友会支援講座）」）。講座の趣旨は、法律と実務の専門家である各士業の会員が、ゲストスピーカーとして母校の教壇に立ち、企業実務の知識を後輩学生の皆さんに伝授するとともに、それぞれの士業の業務の内容や社会的役割を伝えていくものです。講座は、どの学部の学生でも学年にとらわれずに履修することができる「オープン教育講座」であり、通常の授業と同様に科目登録単位制をとっています。



2008年度の最初の年の講座は、通期全28コマ（内、当会の担当は7コマ）、登録学生枠30名でスタート。翌年度からは、前期と後期に分けて学生を募集し（前後期各15コマ。内、当会の担当は前後期計7コマ）、募集枠は50名に拡大され、さらに後期は100名へと拡大され実施されました。2010年度の講座は、前後期各15コマ、全30コマで、それぞれの募集枠100名で実施されましたが（当会は前後期計8コマを担当）、学生の当講座に対する人気は高く、前後期各220名から300名前後の聴講応募者があり、最終的には、前期114名、後期106名で実施されました。

2011年度からは、各士業がそれぞれ単独講座を持つことになり、社会保険労務士の担当分野についても「社会保険労務士講座」として前期15コマの講義が行われることになりました（内3コマを当講座担当教授である早稲田大学法学学術院教授・島田陽一先生の門下である細川良先生にご担当いただきました）。2013年度の講座からは、従来の「提携講座」から現在の「校友会支援講座」へと呼称を改めました。

10年目2017年度の支援講座から、新たに導入されたクォーター制に沿って、秋クォーターの火曜日・金日の4時限目に15コマの講義が実施され、2017年は44名、2018年は49名、2019年度は34名、2020年度は94名（新型コロナ感染対策上、初のリモート講義となりました）、2021年度は26名、そして昨年2022年度は27名の学生が登録、それぞれ無事に全カリキュラムを終了しました。



2023年度からは、大学の1コマの授業時間が90分から100分に変更され、秋クォーターは15コマから14コマとなります（当講座においては、学術講師分が2コマ、ゲストスピーカー分が12コマ）。それに伴い、改めて以下の趣旨のもとにカリキュラムの見直し・強化を行いました。

- ① 採用から退職までの企業の人事労務管理の基本を習得する。
- ② 労働者・社会人として在学中はもとより卒業後においても遭遇する様々な生活危機に対する労働法制・社会保障制度に関する必要な知識を身につけ、法理論の理解と併せてその知識を使えるところまで高める。
- ③ 社労士業務を知ることによって社労士に対する関心を深め、将来の職業の選択肢を増やす採用から退職までの流れを通して企業の人事労務管理の基本を習得する。

2023年度のカリキュラムは右ページ上表のとおりとなります。また大学のホームページでシラバスもご覧いただけます。聴講を希望される方や、次年度以降のゲストスピーカーを希望される方は、曾布川哲也副会長 または支援講座担当の 長部ひろみ副幹事長、松村伸子幹事までご連絡ください。ご連絡をお待ちしております。また、聴講の際には、講義が行われる教室もメールでお問い合わせいただくか、当会ホームページにてご確認ください。（<http://sr-waseda.net>）

2023年度 労働・社会保障実務概論カリキュラム (1講義100分)

	授 業 日	テ ー マ	ゲストスピーカー／講師
1	10月5日(木)	労働・社会保障実務における社労士の役割	木村 辰幸
2	10月10日(火)	労働法実務の今日的な課題に取り組む社労士	上田 純子
3	10月12日(木)	労働法概論	細川 良
4	10月17日(火)	会社と良い関係性を結ぶために：内定・採用・試用期間・労働条件	大津 章敬
5	10月19日(木)	働くルールとは？：就業場所、賃金	羽鳥 智雄
6	10月24日(火)	働くルールとは？：労働時間、休日休暇	渡井 保仁
7	10月26日(木)	ワーク・ライフ・バランスの取れた働き方	荒 久美子
8	10月31日(火)	事業主をサポートし、トラブルを防止する：人事労務コンサルタント	市村 剛史
9	11月2日(木)	社会保障概論	細川 良
10	11月7日(火)	働く環境の整え、ケアする：職場のハラスメント防止・メンタルヘルス	長部 ひろみ
11	11月9日(木)	病気・ケガ・死亡に関する保障・がん罹患時の就労支援：労災保険 健康保険	太田 佳孝 菅原 しのぶ
12	11月14日(火)	労働契約の終了：必要な手続き、法的規制、トラブルとその対処等	見付 季代子 笹井 健司
13	11月16日(木)	老齢・障害等で就労が難しくなった際の所得保障：公的年金	徳村 万貫夫
14	11月21日(火)	これからの働き方と社会保険労務士（トークセッション） ／期末試験・アンケート	松村 伸子（若林 正清・見付 季代子・石田 新一）

火曜日と木曜日の4時限（15：05～16：45） 教室は決まり次第ホームページで告知予定



2022年度 支援講座ゲストスピーカー

〔上段左より〕曾布川哲也会員（ガイダンス）／木村辰幸会員（社労士の役割）／細川良先生〔講師〕（労働法概論・社会保障概論）／大津章敬会員（募集と採用）／市村剛史会員（就業規則）／松村伸子会員（賃金と労働時間、休日・休暇）／上田純子会員（多様な雇用形態）／二宮孝会員（人事労務コンサルタントの実際）／長部ひろみ会員（職場の安全衛生とメンタルヘルス）／太田佳孝会員（労災保険制度）／見付季代子会員（雇用保険制度）／菅原しのぶ会員（医療保険制度）／香川賢司会員（年金相談の実際）／若林正清会員（社労士の活動の実際）



2022稲門祭 & HOME COMING DAY 3年ぶりに対面で開催

2022年10月23日（日）早大キャンパス

2022年10月23日（日）、「ホームカミングデー」が母校において3年ぶりに対面で開催され、社会保険労務士稲門会では、例年どおり本部キャンパス大隈銅像近くに「年金労務相談コーナー」を開設いたしました。2003年以来、通算18回目の参加となります。ボランティアで相談員・お手伝い等ご協力いただいた会員の皆さまにお礼申し上げます。



予告 第23回「定期総会」開催のお知らせ 2023年6月24日(土)

第23回定期総会を下記の通り開催致します。今回の定期総会には、早稲田大学 教育・総合科学学術院教授の藁谷友紀先生を講師にお迎えしてご講演をいただくことになりました。今回の定期総会および講演会はハイブリッド会議の形式で行われ、会員の皆さまは全国どこからでも参加できます。多数のご参加をお待ちしております。

1 日時：2023年6月24日(土) 13:20~20:00

2 会場：リモート参加 (Zoom会議システム) & 来場参加のハイブリッド形式で開催
開催・発信場所：AP西新宿 (新宿区西新宿7丁目2-4 新宿喜楓ビル (下図))

※ 詳しいリモート参加方法等については、ご登録いただいているメールアドレス宛に後日改めてご案内します (メールアドレスを未登録の方は、事務局の市村 (TEL: 03-5876-3147) まで)。

3 開催スケジュール：

■ 会員特別講演会 13:20~14:50
(「支援講座」のゲストスピーカー (新規予定者) による講演会)

講師：羽鳥 智雄 会員

テーマ：「外国人労務管理のゲートウェイ」

講師：笹井 健司 会員

テーマ：「物流2024年問題~ドライバーの労働時間規制強化の法的課題と対応」

■ 第1部 定期総会 15:00~15:30

議題 (1) 令和4年度事業報告 (2) 令和4年度決算報告及び監査報告

(3) 令和5年度事業計画 (案) (4) 令和5年度予算 (案)

(5) 役員改選 (案) (6) その他

■ 第2部 講演会 15:30~17:30 (質疑応答含む)

講師：早稲田大学 教育・総合科学学術院教授 (早稲田大学常任理事)

藁谷 友紀 先生

演題：「2024年問題に象徴される物流の現状と課題、
そして何をめざすか」



■ 講師略歴

藁谷 友紀 (わらがい・ともき)

1954年 (昭和29年) 福島県生まれ。専門 理論経済学、経営経済学。早稲田大学教授。ボン大学経済学博士。しごと能力研究会会長、早稲田大学総合研究機構システム競争力研究所所長。外務省専門調査員 (在ベルリン日本国総領事館)、早稲田大学教育・総合科学学術院長、早稲田大学常任理事・学長代理、大阪繊維学園 (現・早稲田大阪学園) 理事、早稲田実業学校学校長等を歴任。

■ 第3部 懇親会 18:00~20:00

懇親会費：5,000円

【会場】AP西新宿



予告

第28回勉強会（春の勉強会）のご案内 2023年4月15日（土）

【開催日時】2023年4月15日（土）13:00～15:00

【形式】Zoom利用によるオンライン開催

【講師】若林 正清 会長

【テーマ】「マーケティング思考と社労士」

マーケティングとは何か？いくつかのマーケティング・フレームワークを解説するとともに、社労士ならびに社労士業務について、マーケティング思考にて考察します。



【お申込み】以下のアドレス宛に、お名前、ご自身のメールアドレスをご記載の上、メールにてお申し込みください。

office@hrm-solution.jp

※ 申込み〆切：4月7日（金）（ZoomのURLは開催日前にご記載のアドレス宛にメールにてお知らせします。）

社会保険労務士稲門会研修委員長 杉山秀文

（社会保険労務士法人ヒューマンキャピタル 文京区本郷3-17-7）

予告

稲士会散策企画「深大寺巡り」のご案内 2023年5月21日（日）

【開催日時】2023年5月21日（日）11:00 現地集合

【参加費】5,000円 円（神代植物公園入場料、懇親会費）当日徴収

【締切日】4月25日（火）

参加を希望される方は、3月14日送信メールのGoogleフォームにてお申し込みください。

集合：神代植物公園正門前（入場口なのでわかりやすいです）

交通：京王線 調布駅から京王バスで深大寺行き「神代植物公園」下車（約20分前後）

JR線 三鷹駅、吉祥寺駅から小田急バスで深大寺行き「神代植物公園」下車

当日予定：11:00 神代植物公園正門前 集合

11:00～12:20 神代植物公園で開催中のバラフェスタ、大温室など散策

12:20～13:00 深大寺参拝、国宝「釈迦如来像」見学

13:00～15:00 元祖「嶋田家」にて懇親会

15:00 現地解散



■**当会ホームページ** 随時更新しています！情報の確認に、また新入会員の勧誘にご活用ください！

「社労士稲門会」で検索、又は URL: <http://sr-waseda.net>

■**当会へのご入会を希望される方は**、ホームページで当会会則をお読みになったうえで、「入会申込み」ページにて入会申込書をダウンロードし、必要事項をご入力してください。さらに、年会費（5,000円）をホームページ記載の指定の口座にお振り込みいただき、入力済みの入会申込書を、下記窓口までメールに添付してお送りください。

・入会申込受付窓口：社会保険労務士いちむら事務所 市村剛史（事務局担当）

【発行】社会保険労務士稲門会

メールアドレス：info@office-hci.jp

《事務局所在地》〒171-0022 東京都豊島区南池袋 3-13-14

大南経営労務アドバイザーオフィス内

TEL:03-3971-2152 FAX:03-5396-3802